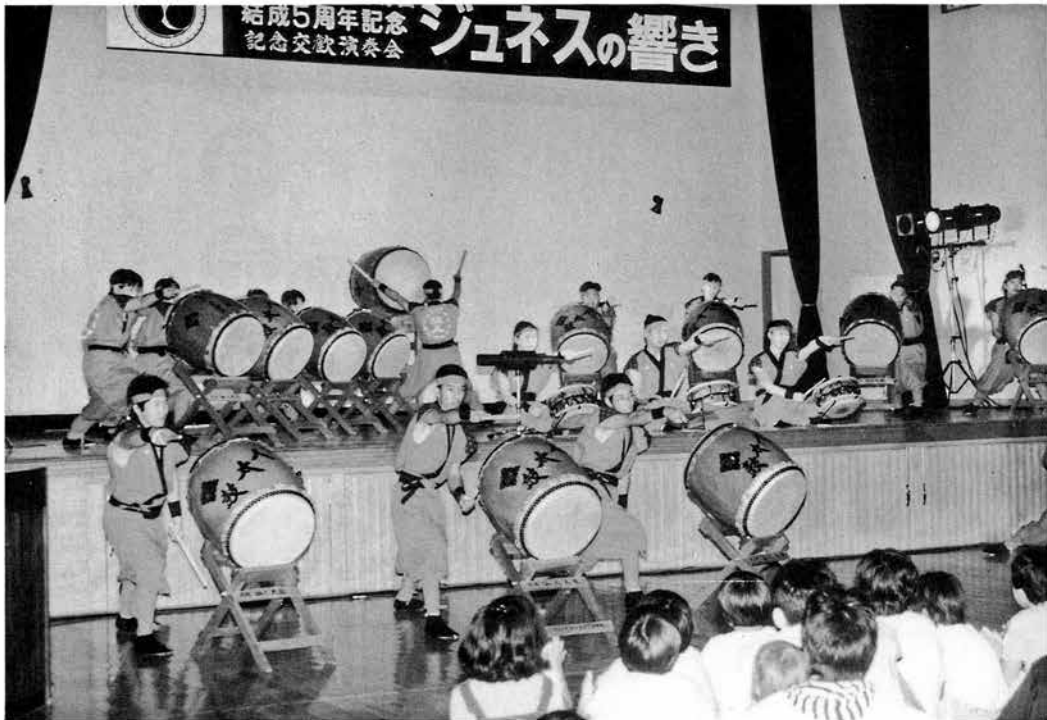


# 議会だより

〒019-08 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1 ☎(0182)-47-2111



## 鼓道!!

## ジュネスの響き

(成瀬仙人太鼓愛好会結成5周年記念交歓演奏会)

### もくじ

中山問ふるさと水と土保全基金条例制定	2頁
村長の行政報告	3頁
一般質問(高橋清議員)	4頁
一般質問(柳邦夫議員)	5頁
一般質問(後藤作議員)	6~7頁
一般質問(高橋楯雄議員)	7頁

### もくじ

決算認定審査の概要	8~9頁
議会行政視察報告	10~11頁
議案審議の概要	10頁
常任委員会レポート(総務教育民生常委)	11頁
請願・陳情・要望などの審議結果	12頁
私もひとこと(椿台・高橋みちこさん)	12頁

# 冷害対策に論議白熱

3氏が、一般質問で村の対応を質す



「無稔」の稲刈（手倉にて）

## 9月定例会

こんなことが  
決まりました

九月定例会は、去る九月七日に招集され十七日までの会期で開かれた。この定例会には、平成四年度各会計決算や今年度の補正予算、人事案件などが提案されたほか、冷害対策に関する請願や要望などが提出された。これらの提案された議案や請願などは、すべて「原案可決」となった。

### 東成瀬村中山間ふるさと

### 水と土保全基金条例を制定

#### 運用益を住民活動強化に活用する

この基金は、土地改良事業などで整備した施設等を持つ地域住民が行う共同活動などを援助するための資金、または施設の保全などにかかる経費に充てるための資金とする目的のため積み立てるといふものである。この基金額は一千万円とし、必要に応じて増額していくこともできることになっている。

この基金の運用益を生かして行う活動の例として、まず地域のリーダーとなる「保全推進委員会」を組織し、その人達が核となり地域住民が参加して行う緑化運動や花いっぱい運動などがある。

保全推進委員会は、必ずしも新しくメンバーを組織する必要はなく、既存する団体（部落会や水利組合など）の構成員でも良いことになっている。

この他の活動事例としては、地域住民が参加して行う水路とか溜め池・農道などの軽微な改修保全事業などもある。

いずれにしても「地域住民が主導となって企画し実践すること」に対し、この基金の運用益金を活用する」ということが基本条件なので、詳しくは役場産業課へ問い合せたうえで、有効な活用を期待したい。

村長

行政報告



村長 後藤 幸司

▼春以来の天候不順と日照不足による農作物への影響対策と対応を的確にするため、八月五日に農作物異常気象対策本部を設置した。(九月十四日、これを冷害対策本部に切り替えた)

冷害対策関係予算は被害の全容が明らかになりしだい措置する

▼現状把握のため、八月二十四日と九月二日に合同調査を実施したところ、平年より二週間の遅れとなっているほか、不稔粒の多発が見られ、障害の影響は大きいものと推察する。  
▼減収の実態はまだ掴めないが、まず穂イモチ病の防除を徹底し、収量の確保に努めるとともに、その後の対策として農業共済の適用漏れが無いよう万全を期さなければならぬと考へる。  
▼これらと併せて、農業経営の安定と体制強化のための助成や



捨て刈りをするコンバイン

融資制度の導入など、関係機関と連携し進めて行きたい。  
▼今定例会では冷害関連の予算は措置していないが、被害等の全容が分り次第措置する。  
▼場合によっては、臨時議会で関係予算の審議をお願いすることも考えている。

▼心配されたトマトは、八月末現在で七千七百七十七箱の出荷で売上高が四千万円以上と、昨年より生産量は少ないが売上高では伸びているようだ。  
▼ジュネス栗駒スキー場には、県も大いに注目しており、今年度ふるさと農道整備事業が採択

となつて、向こう四年間で橋を含めて、大型車の通行も可能な道路とする拡幅改良工事が施工されることになった。  
▼今年から始まった、若者定住促進緊急プロジェクト事業の、スキーリフトの建設工事は着工し、圧雪車の車庫を兼ねた無料休憩所の建設も間もなく工事契約が成される予定だ。

▼栗駒山や栃ヶ森の一部が指定される森林生態系保護地域問題に関し、私も設定委員なので、地域住民の山の利活用などについて意見を述べてゆきたい。

提出案件と主な内容

- 人権擁護委員の推薦について ※この件は、三ページに掲載
- 監査委員の選任について
- 教育委員会委員の任命について
- 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正案
- 一般廃棄物最終処分場の手数料などの改正案
- 出かせぎ者事故見舞金の支給に関する条例の改正案
- ・見舞金の支給対象範囲を拡大するというもの。
- ホームヘルプサービスの手数料を改正する条例案
- ・サービス利用料金の一部を改正するというもの。
- 村営スキー場設置条例案
- ・ジュネス栗駒スキー場を村営とするというもの。
- 東成瀬村中山間ふるさと水と土保全基金条例案
- ※(この件は、二ページに掲載)
- 平成五年度各会計補正予算案
- ・一般会計と、国民健康保険(事業勘定・施設勘定)及び簡易水道・老人福祉施設運営の四特別会計
- ※(この件の主な質疑内容などは、十ページに掲載)
- 平成四年度各会計決算の認定について
- ※(この件の主な質疑内容などは、八ページに掲載)

議会では、次の方々を村の監査委員・教育委員・人権擁護委員に選任または任命することに同意する、などとした。

○監査委員

- 佐々木三男(七十六歳)
- 田子内字迎田三十六

・二名の監査委員のうち、知識経験を有する委員として選任することの同意を求めると

○教育委員

- 高橋憲蔵(五十一歳)
- 椿川字天江五十六

○教育委員

- 高橋憲蔵(五十一歳)
- 椿川字天江五十六

・人権擁護委員としての法務大臣へ推薦するため議会の意見を求めるというものであった。

・五名の委員のうち任期満了となる一名の任命について議会の同意を求めるというものであった。

- 古谷正久(六十九歳)
- 田子内字上野二の一

# 一般質問

九月定例会の一般質問には、四氏が登壇し冷害対策や歴史の道（手倉越え）のPR、そして福祉対策や観光及び、森林生態系保護地域の設定問題などについて村の考えを質しました。

## 激甚的冷害の

### 被害対策を問う

村長——被害の事態を把握し、  
充分な助成措置を講ずる



清橋 議員  
高橋

○ 村は県の最南端の山間部に位置し、今年は壊滅的な遅延型障害型の冷害である。  
県では国に対し天災融資法の発動を働きかける動きがあるようだし、近隣町村では、すでに不稔率百パーセントと発表しているところもある。  
村ではこの冷害対策を、どう考えているのか。

村長 村でも、先般被害状況調査を行って、その時点でのデータは出ている。  
しかし、今後例えば一週間の好天が続くと、その数値は大きく違ってくるのが考えられる。  
従って、今後も調査を続けるしその事態を踏まえたうえで考えたい。  
農業共済の査定を  
早めてもらいたい  
○ この激甚的な冷害により、自分の飯米すら確保できないという農家が出ることも予想される状況下にあつて、各機関に働きかけて一日も早い共済の査定



議会議員による被害状況調査

を行ってもらいたい。  
村長 十月二日から悉皆調査が始まると聞いている。  
この調査日の設定は、出穂期から刈り取りまでの四十何日という日数計算から出たものと思っ  
ている。  
従って、必ずしも遅いとは思っ

ていないが、なるべく調査作業等が早期に終えるようお願いをする。  
防除費などへの  
助成はできないか  
○ すべての防除が終わったところで不稔や病害の発生な訳だが、これらの防除にかかった経費に対する村の助成などは考えていないか。  
村長 事態を踏まえた上で充分な助成措置をしたい。  
ただし、飯米もないからその分も全部助成する、ということ  
はできない。  
来年度の種子の確保を  
どう考えているか  
○ 冷害の稲から採った種子は  
発芽も悪く、成育も良くないと

言われている。  
今年、自家用飯米すら無い農家の出ることが予想される状況であるが、来年度用の種子の確保をどう考えているか。  
これまでの採取圃からの確保は大丈夫なのか。  
村長 種子の確保は行政が直接やることではなく、農協なりの機関で確保していただき、それに対する助成などは行政として充分に行かなければならないと考えている。  
産業課長 村の農業指導センターでは、各農家に種子更新を呼びかけているところだ。  
品種の選定についても適地適作を考慮して指導して行きたい。  
また、農協及び出荷業者に確認したところでは「種子を再注文し、さらには品種の見直しを図るとともに、必要量の種子を確保すべく対処している」とのことであった。  
秋田県では、湯沢雄勝の種子採取圃を湯沢市と羽後町の二箇所を設定しており、これらの採取圃では、今年の場合でも種子の採取は充分可能である、との情報を得ている。  
因みに、品種は別として全村規模で必要な量は一万一千九百六十キロと計算している。

# 歴史の道「手倉越え」

## をどう考える

### 村長——「胆沢城への最短距離」には、同感だ



柳 邦 夫 議員

七月より全国放送の、大河ドラマ「炎立つ」は、前九年の役、後三年の役と東北を舞台に当時の大和朝廷や貴族に、蝦夷、エミシ、俘囚と脱まれた我々の遠い祖先の大義名分、意地、誇りを物語り東北人の名譽挽回に面目躍如たるものがあると考える。それ故に映画化に先立つこと三年も前より岩手秋田宮城の関係町村の取り組みは真剣であり「前九年・後三年の役サミット」として、持ち回りの交流会を今年は衣川で行っている。こうした行事企画に、我村には全然呼び掛けがないのか。この岩手・秋田に跨る戦乱の時代、阿部の支配する奥六郡と清原の支配する仙北三郡を結び手倉越えは、最短距離のしかも人馬が楽に通れる軍事戦略道路

であったと思う。真人山には清原武則の居城があったと菅江真澄の出羽路にも出てくる。

手倉越えを経て下嵐江、胆沢を下り北上川の合流点胆沢城、昔の人の健脚では、半日コースだったと考えられるこの重要な歴史の道をPRし維持保存すべき、と思うが考えを伺う。

村長 炎立つについては、各市町村で行事を企画しているようだが、それに参加とか、招待も記憶にない。

手倉越えは胆沢城への最短距離には同感である。道の維持管理、交流については教育長に報告させる。

教育長 手倉越えについては、依然旧道のまま笹竹と柴の中に僅かに道形が偲ばれるのが現状だが、昔の道を復元したい願いから胆沢町との合同調査も企画している。

歴史教育と愛郷心について伺う

先般の学校訪問で、村は三年の学社研の指定を受けていると聞いた。

学社研とは、学校教育と社会教育の調和と思うが、こうした村の歴史などが語り継がれる風土作りに、教育長の姿勢の一端を伺う。

教育長 歴史教育と愛郷心については、当委員会として最大関心を持っているところである。各学校ともに、表現は違っても「ふるさと学習」として歴史文化、産業など現地学習を含め真剣に対処している。

と聞いた。

水源地の設定を

我村は成瀬川の源流、水源の村、という自覚に立ち、水源樹林の保全育成に尚一層の関心と努力をすべきだと考える。

以上の見地より、各部落毎に水源林を設定、これを永久禁伐林として条例化し、個人所有の場合は極力譲り受けの方針で、又伐採には厳しい条件を講ずべきだと思うがどうか。

村長 簡水の水源地を作ることには、原則として大賛成だ。勿論地域により個人所有、慣行の入会権、部落地などあると思うので、その点充分配慮し、その方向で進めたい。

公務に携わる者の守秘義務と健康弱者に対する配慮

最近、村の中でも知識階級

の方から「診療所の先生は大変人柄も評判も良く診てもらいたいが、行けばすぐに隣近所の母さん方の何の病気とかニュースの種になり、それに尾ヒレが付いて煩わしくて行かれない。こういうこと、何とかならないものか」という相談を受けた。

以前には別の方から「特養関係の職員の家族が入所者の状態を微に入り細に入りおもしろおもしろ聞かせ、茶飲み話の座長になっている。嫌なものだ。」と聞いたことがある。

今は、ボランティア・ネットワーク等で、福祉が他人の家の奥まで上がる時代「あの家のサービスがどうの、病人の布団がどうとか、部屋が暗いとか」では、覗き趣味から捜しの訪問にな

後一層指導する。



今夏、手倉越え（仙北街道）を踏査した

らと思う。

従って、患者の秘密を含めた健康弱者に対する配慮について医師・看護婦の方々には専門課程の中で厳しい教育を受けると思うが、これ以外の村長以下、清掃員に至るまでの「オガサベリ」を謹むよう、その対策を伺う。

村長 私は、常に礼を言われることは多いが今日は逆の話を聞いたので、今後充分注意しそのようなことのないようにする。

幸寿苑長 守秘義務については機会あることに、職務の本职工作をわきまえるよう指導している。

健康課長 「職員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない、その職を退いた後も同様とする」という公務員の義務を今

後一層指導する。

健康弱者に対する配慮

最近、村の中でも知識階級

の方から「診療所の先生は大変人柄も評判も良く診てもらいたいが、行けばすぐに隣近所の母さん方の何の病気とかニュースの種になり、それに尾ヒレが付いて煩わしくて行かれない。こういうこと、何とかならないものか」という相談を受けた。

以前には別の方から「特養関係の職員の家族が入所者の状態を微に入り細に入りおもしろおもしろ聞かせ、茶飲み話の座長になっている。嫌なものだ。」と聞いたことがある。

今は、ボランティア・ネットワーク等で、福祉が他人の家の奥まで上がる時代「あの家のサービスがどうの、病人の布団がどうとか、部屋が暗いとか」では、覗き趣味から捜しの訪問にな

後一層指導する。

# 古老も驚く大凶作に 万全の対策を

## 村長——関係機関と協議しながら 充分な措置をとる



作 藤 後  
議員

戦後最大の凶作の様相を強くしている今年の冷害は、米の在庫が極端に不足している中で起きている。ゆとりのない需給計画の基で過大な減反を押して国民主食の安定確保を怠ってきた政府の責任は、改めて厳しく問われなければならない。

引き合ひ生産者米価とゆとりある需給計画に基づく大幅な減反緩和こそが農業と農村の再生につながる。国に対して、強力に働きかけるべきだ。

八月始め、村長に対して冷害に対する五項目の緊急対策の申し入れをした。その主な要点は

- ・ 他用途米の予約取り消しを認め、主食を優先させる。
- ・ 損害評価は公正的確に。共済金の早期支払いを働きかける。
- ・ 農業用資材費等の返済繰延べ

### と利子補給。各種税の減免。

・ 天災融資法や激甚災害の指定と飯米・種籾の確保。

などであったが、改めてその対策を伺う。

村長 村が単独で出来るもの、または行政機関にお願いするものなどであったが、大まかに言って村で出来るものは極力配慮し、やりたい。

今まで二回の調査をしたが、全容が判らないうちに「これこうする、どうする。」という



トンネル化による通年通行が待たれる  
岩井川・三又線

ことは盲くないだろう。制度資金または各種営農指導その他については、一町村での対策は容易でないと思うので、関係町村または、関係機関と連携を取りながら制度を充分に活用できるような対策をお願いしたいと思っている。

### 村独自の被害調査を 実施しないのか

被害農家の実態が判るような村独自の調査が必要でないか。

その調査結果に基づく村独自の救済措置や調査結果の公表により、うまい米作りが優先され適地適作が崩れがちな品種管理を見直すなど、来年以降の営農指導にも役立つと思うが伺う。

村長 村独自の被害調査は共済組合の調査と一致するとは限らないが、調査はする。

ないが、調査はする。

他用途米、減反緩和面積確保その他についても、農協その他の機関と充分協議を重ね、冷害対策に充分な措置を講じたい。

デンバーとの交流費用を

### 農業被害救済へ

去年、デンバーとの交流関係費用は五百四十万円の支出があり、今年も五名の派遣が予定されている。

国際交流は否定しないが、今いま不急の費用は抑え、農業災害救済を最優先させる、それが村民感情に沿うものと思うが。

村長 デンバーへの派遣の件では、今年度も五百万円をお願いしているところだ。

質問の趣旨としては結構だと思いが、若い方々にも希望を持っているので、それも行いながら災害対策のほうもやりたい。

もし、財源対策ができないときは中止もあり得る。

来春の村長選挙に  
立候補予定はあるか

先の議会で、鍼・灸・マッサージなどに対する助成について「充分に考える」といったが早い機会に助成をすべきだ。

なぜなら、来春に村長選挙が予定されている。その場合の当初予算は暫定予算とするのが常道とされている。

そこで来春の村長選挙に立候補する予定なのかも併せて伺う。

村長 この助成について調べてみると、年に六回または五回と様々だったが、一回あたり千円くらいの助成で、年間六回を限度とするのが一番多いようだ。

医師の指示がなくなるともマッサージなどをする方には、年六回を限度として援助できると思う。これらの実施は、今年の十二月からとしたい。

来春の村長選挙には、現在の体調であれば、立候補の意思は充分ある。

予算は、暫定予算ではなく、誰が村長になっても執行できるような予算編成をしたい。

スキー場工事の  
排水対策は万全か

柳沢スキー場にリフト及びゲレンデを造成中だが、排水対策を充分にしないと土砂の流出により、下流に被害発生恐れがある。対策は万全か。

企画課長 コース整備は幅の広いところで五十メートル、狭いところで二十メートルくらいになると思う。

当然地表を切り盛りすることになるが、湧水があった場合はその時点で対処し、必要な所には承水路を作るなどする。また牧草を蒔くなどして万全を期す。

県の環状道路計画より

三又線の優先を

県による湯沢雄勝環状道路計画に、七百万円の調査費が付いたと聞く。

この道路は郡内の各拠点を冬期間も通行可能なトンネルで結ぶ計画で、田子内から狛半内へ、草の台から皆瀬村へ通じる道路もトンネル化されることになる。この計画そのものを否定するものではないが、それよりも我村にとって今優先されるべきは、岩井川・三又線のトンネル化ではないかと思う。

近々中にトンネルを何本も掘れるものでもないと思うし、岩井川・三又線は期成同盟会を作って運動中でもあるので何う。

村長 岩井川・三又線トンネル化に、今年若干の調査費が付いた。期成同盟会総会には県の幹部の方も来て「東北横断自動車道に通じる唯一最短道路でもあるので頑張りましょう」という発言があった。何とか早期に完成させたいとがんばっている。環状道路の件は、狛半内へ抜ける道路は県の林務課で、皆瀬村へ抜ける道路は県の道路課でそれぞれ調査をして方向付けをすることになっているが、具体的に「どこをどう」とは、まだ決まっていないようだ。

保護地域内への

入山は絶対だめか

村長―保全利用地域への入山はできる



高橋 榎雄 議員

林野庁は数年前から、栗駒山と栃ヶ森山周辺一帯を「森林生態系保護地域」に設定して、

動植物の保護保全を図って行く計画で、動物の生息調査及び植物の植生調査などを行っている。先日は、設定委員会も開催され、事業内容の説明などがあり

今後は小委員会が保護地区・保全利用地区の線引き作業などに入る。ことが新聞報道された。村長も地元委員としてこれに参画しているのか。

八月三十日に秋田営林局で第一回目の設定委員会が開催され出席した。

今後、委員会を数回開き保存地区及び保全利用地区の線引き作業を行い、来年三月の設定になると思う。

入山規制で生活の場が

失われないか

栗駒山・須川地域は登山者や観光客も多く、また栃ヶ森山に隣接する北の俣一帯は釣りや山菜採りの入山者も多く、村民の生活の場でもある。

この設定によって、地元の入山者も規制を受け、生活の場が失われるのではないか。

現在、登山者や釣り人、山菜などの副産物の採取などで多くの入山者もあることから、今までどうり利用できるように要望しているところである。

成瀬ダム建設に 関連して

成瀬ダム建設のための調査も順調に進んでいるようだ。

建設省直轄の多目的ダムとのことで大いに期待している。

先日、ある筋より「今の段階では、計画の中に発電所建設は入っていない」と聞いた。

灌漑水利用だけのダム建設であるならば、改良区のためのダムであって村へのメリットは少

ないものと思う。

関係方面への確認と働きかけをすべきと思うが、村長の考えを伺う。

ダム建設については、全くそのとおりだと思う。

建設に伴う周辺環境の整備等については、今後は役場内だけでなく村内関係者の意見を聞きながら、村が損をしないような方法で協議して行きたい。

また、発電の件は、いま初めて聞いた。今後、築堤に入る前に確認し、協議して行きたい。

今後の須川高原バスの運行見直しは

須川高原への国道改良も完成し、当局の運動がみのり待望のバス運行が実現した。

しかし、この夏は冷夏の影響もあって利用客が少なく運転手に気の毒な現状であった。このような状況では「来年は運行中止になるのではないかと心配している。

これが中止とならないよう、強い働きかけを希望する。また、バスの止まらない集落から「止まって欲しい」と多くの声を聞く。これの実現も働きかけて欲しい。

高原バスの運行状況については、お願いに行つたところが赤面している状況だ。

停留所の件は、急行バス運行の許認可なので今すぐには厳しいと思う。今後、会社のほうと協議し、要望に沿いたい。



マイカーによる行楽客が多いのも要因か…… (栗駒山荘前)

# 焦点 決算審査

九月七日の本会議において「各決算の認定議案は、特別委員会の内容を審査したうえ、本会議で審議する」旨を決定した。これにより、九月八日、九日の両日に六人の委員による審査が行われ、会期最終日には古谷正久決算特別委員長が審査報告を行って、全ての決算認定議案は、原案どおり認定、となった。本号では、この委員会審査の主な質疑応答に焦点を当ててみた。

おり一人へ五千円である。

## 村の高齢化率は どうなっている

○ 東成瀬村の六十五歳以上の高齢化率はいくらか。

住民課長 平成四年三月末では二十二・二一％で、五年の三月末では二十三・五六％である。

## 保育料の決定基準は どうなっているか

○ 保育料の上昇率は物価上昇率を見るのか、それとも基準があるのか。仕組みと押し上げる要因を伺う。

住民課長 国の基準が所得などを考慮して年々上がって来る。国の基準では十段階までの基準を適用している。その中で、三歳と四歳以上に

ついては国の上昇率を見て若干上げており、昨年度は〇・五％の上昇率であった。

## 保健センターの器具類は 誰でも使えるか

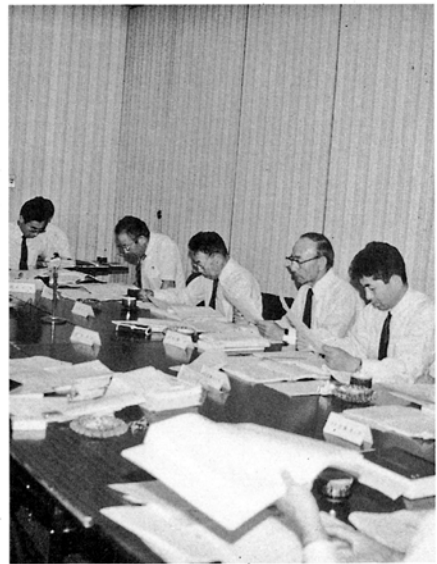
○ 保健センターで購入した機能訓練用の器具類は誰でも使えるのか。

健康課長 センターでは理学療法士の指導の下でリハビリ事業を行っているが、事前に連絡して付き添いの方がいるならば個人であっても使える。

## 一日ドックの費用は どうなっている

○ 一日ドックの、費用負担はどうなっているのか。

健康課長 男性の場合は総額で三万九百円かかるが、村補助が



特別委員による審査の様子

一万五千円あって、残りの一万五千円が個人負担となる。女性の場合は、三万三千九百四十円かかるが、男性との差の三千四十円は、農協が助成してくれるので、個人負担金は男性と同じになる。

また、男女とも国保加入者の場合は五千円がさらに補助されるので、個人負担は一万円だけとなる。

## 生ゴミ収集箱の 利用状況はどうか

○ 生ゴミ収集用ボックスの利用状況はどうか。

一部地域で指定日以外の持ち込みとか指定日にカギが開かないとかの苦情もあるようだが。健康課長 全部で三十九基設置

## 農業指導センターの 現状に問題はないか

○ 農業指導センターのあり方で、例えば職員数などの問題は、例えば職員数などの問題はないか。

産業課長 農業指導センターに嘱託の職員を置いている当村は恵まれているほうであり、配置された指導員も机に向かっている間もなく村内を回っている。

## 野菜・花きなどの 売上実績があつたか

○ 野菜や花き栽培に補助をしているが、販売実績を出すところ

## 難病者などへの 見舞金の対象は何人か

○ 難病者及び長期療養者見舞金の対象数と金額を伺う。

住民課長 難病見舞金は特定疾患や小児癌、スモン病などの人が対象であり、十人いて一人に二万円である。

また、長期療養見舞金は一年以上の寝たきりで在宅又は入院している人が対象で、二十九人

委員長	古谷 正久
副委員長	谷藤 東太郎
委員	佐藤 正次郎
委員	後藤 清
委員	高橋 楠雄
委員	高橋 清雄





自由化に対抗できる力をつけたい村の畜産

ろまで行っているのか。  
産業課長 まだ試験栽培の段階  
であって、販売実績はない。

### 畜産に対する今後の 考え方を伺う

○ 牛の飼養頭数は減少してい  
ると思われ、短角牛も減ってい  
る現状を見て、今後の重点指針  
をどうしているか。

産業課長 確かに、村では牛の  
頭数の減少に加え、飼育者も高  
齢化している。

畜産センターを活用するオー  
ナー制の奨励も考えたが、これ  
にもかなり厳しいものがある。

受精卵移植もやっているが確  
率が低くしかも市場価格が低い  
ということもあり環境はかなり

厳しいのが現実だ。

### 和牛増頭事業補助制度の 効果をどう見ている

○ 当初予算に三百万円の補助  
金予算を置いたが、結果は三頭  
で三十万円の実績だった。これ  
をどう見ているか。

産業課長 和牛改良組合長とも  
協議しているが「この金を優良  
牛の選定にする」などの考えを  
もって振興協議会を開きたい。

### 地籍調査後のトラブルの 処理はどうしている

○ 地籍調査の時に現地の立ち  
会いをしなかったとかで、所有  
権などに関するトラブルが出た  
場合にどんな処理をしているか。

商工観光課長 ミスの発見とか  
土地所有者からの申し出などが  
あった場合は、直営で再調査し  
訂正すべきは訂正し、登記手続  
きまでやっている。

### 地籍調査は あと何年かかるのか

○ 村の地籍調査はあと何年で  
完了するのか。

商工観光課長 補助金のことも  
あるが、向こう三・四年で終了  
したいと考えている。

### ジュネス休養センターの これまでの客数は

○ これまでの、ジュネス休養  
センターの入り込み客数はいく  
らになっっているか。

企画課長 五月一日から九月六  
日までで、延べ八千九百九十七人  
となっている。

### 景観百選の看板は どうやって作ったのか

○ 国道三九七号からスキー場  
へ入ったところへ立てた景観百  
選の看板は、どういうことで、  
どこが立てたのか。

企画課長 全国土地改良事業団  
の行い選定に県内二箇所の一つ  
に選ばれたもので、企画費で製  
作し立てた。



紅葉をながめながらの入浴  
(ジュネス休養センターにて)

### 各施設の入湯税 実績はどうか

○ 昨年度の入湯税の実績はど  
うだったのか。これに休養セン  
ターは入っているのか。

収入役 栗駒山荘が、二万二千  
四百二十人、なるせ温泉が千百  
十四人で、合計二万三千五百三  
十四人であって五十三・一%の  
伸びであった。  
休養センターは今年度分から  
の収入となる。

### たばこ消費税が 伸びた要因は何か

○ たばこ消費税が当初予算を  
追加補正して入って、伸びてい  
るがこの傾向の要因は何か。

○ 税務課長 一般の店舗での消費  
は減少傾向にあると思う。この  
伸びの大きな要因は栗駒山荘や  
ジュネス栗駒スキー場などの販  
売実績にあると見ている。

### 村から出た磨製石斧の 展示はできないか

○ 滝の沢から出土した磨製石  
斧の里帰り展示はできないか。  
教育長 国の重要文化財である  
ので、貸し出しは不可能だ、と  
言われている。

○ 万が一借りて来たとしても、  
その管理責任も大変だろう、と  
言われているので現時点では考  
えていない。

議会で、今年度の行政視察で隣の胆沢町と前沢町を視察した。特に胆沢町では、石淵ダムを埋めるような新しいダム建設が着工しており、村にも成瀬ダムの構想があることから、議員各位には大きい関心が集まった。

胆沢町では、今ある石淵ダムがすっぽり埋まるほどの大きなダム建設が始まった。

私達が、大森山トンネルを抜けて石淵ダムを過ぎるころにはこれまで見慣れたダム下流の民家や樹木などがすっきり撤去されていて、風景がガラリと変わっていることから「いよいよ、ダ

ム工事が始まっているんだな」と実感させられた。

大きさは九倍に、

貯水量は十三倍になる

役場で町の説明を受けたが、町長さんや係の人の話によると「新しいダムは、現在ある石淵ダムの約九倍の大きさと、今あるダムはすっぽり埋まる」

「貯水量は今のダムの約十三倍になる」ということだった。

町では、この新しいダムの建設を契機にいろいろとこれに関連した開発構想を立てており、特に、周辺の観光開発に力点を置いているようだった。

若者定住促進緊急

プロジェクト事業を活用

当村でも指定となった、国の若者定住促進緊急プロジェクト事業の指定を受け、これを軸にダム建設に関連する各種の補助制度などを活用し、二十五億を越えるような規模で様々な事業が計画されていた。主な予定事業は、ひめかゆ温泉を中心とするリゾート構想や特徴ある橋を掛けてダム湖観光

# 夢をかけている胆沢町

産業建設常任委員長 佐々木 勇 治



## 議案審議

九月定例会には、本年度の一般会計などの補正予算案のほか条例改正案や契約承認議案などが提案された。これらの議案に対する質疑内容の主なものにスポットを当ててみた。

### 一般会計補正予算案

福祉計画策定準備費に

交付税措置があるか

後藤議員 平成四年度では老人福祉計画策定準備経費ということで交付税の交付があったが、今年度もあるのか。

健康課長 この事業は補助事業であり、国庫補助と一般財源で事業実施をしている。

交付税の交付基準は

どうなっている

後藤議員 この交付税の交付基準はどうなっているのか。

総務課長 今年の交付税額は、現時点では判らない。はっきりした時点でお知らせする。

家畜診療所の

新築助成とは何か

後藤議員 家畜診療所新築助成金とはどこへ新築したもので、どこへ支出するのか。産業課長 湯沢市にある家畜診

療所の新築に対する助成ということで、湯沢市雄勝郡内市町村で負担し合うものだ。

日本さくらの会とは

どういう組織か

後藤議員 日本さくらの会会費という支出項目があるが、このさくらの会とはどういう組織なのか。

産業課長 名称は日本さくらの会と称し、村ではここから昭和五十二年に百本、平成四年度に百五十本のさくらの苗木をいた

だいている。この度、この日本さくらの会から、各自治体に「会員になって欲しい」との要請があり、今年度から加入することとしたものだ。

もらった桜は

どこへ植えたのか

後藤議員 過去二年にわたってもらった桜の苗木はどうしたのか。

産業課長 一般の方々にも配布しているが、役場の後ろ側へも植えている。

### 契約案件の承認

スキー場無料休憩所兼

圧雪車庫庫建築本體工事

請負契約の締結について

入札指名業者選定の

経過を伺う

後藤議員 過去に「工期まで完成できない」という例があったが、今回はそれらを検討して、入札指名を行ったか。

企画課長 指名業者の選定については、村の課長等で組織する指名業者選定委員会において、村で実施した最近の事業や工事内容を参照して決定している。

今からの発注で

その工期に間に合うのか

後藤議員 先のジュネスワンの工事の時も「絶対大丈夫」と太鼓判を押した結果、工期はあのとおりだった例もある。今回は本当に「絶対大丈夫」なのか。

企画課長 工期内の完成となるよう請負業者を督促する。



町中心部に集団移転した石淵地区

# 行政視察報告

## 新しいダムに

### 岩手県胆沢町を視察

を目指したい、などであった。また、国道は、川の向こうをトンネルなどで直線的に結んでつづ沼まで改良される予定だということであった。

当村でも具体的な要望や活用計画の策定を

今、村に建設が予定されている「成瀬ダム」に関する規模など具体的な構想はまだ聞いてないが、村でも国などに要望するのは積極的に要望をして、「単に下流の灌漑用ダムにはしない、地元にも経済効果などにメリットのあるダム」と、なるよう議会でも運動を高めて行きたい、と強く感じて来たところである。

去る八月、当委員会が所管する村の教育関係と民生福祉関係の十二施設を視察訪問した。訪問の目的は、各施設の現況把握と設備の整備、職場環境整備の要望などについて現場の声を聞いて、村当局に要望の実現を要請するためであった。

## 総務教育民生常任委員会

委員長 鈴木 圭作

### 学校など教育民生福祉施設を視察して

施設設備の改善要請などは、逐次達成。  
児童数の減少対策などが、これからの課題となる。

常任委員会  
レポート

本年七月末日現在、村の六十五歳以上の高齢者は八百七十三人で高齢化率は二十三・八％、人口の約四人に一人は高齢者である。現在の状況から推計すると七年後の平成十二年の高齢化率は三十一・一％で、約三人に一人が高齢者と予測される。

このようなことから、健康問題・生きがい対策・在宅福祉サービス等々、施設設備も含めた施

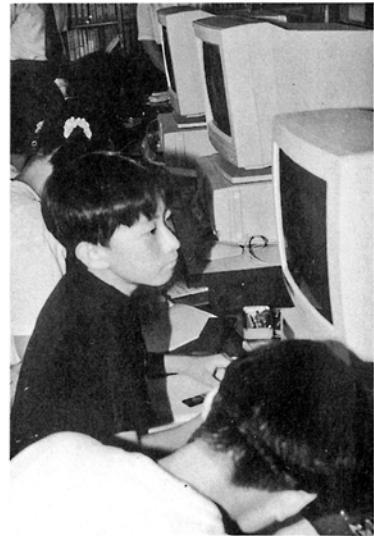
当委員会の施設訪問は今年で三回目になるが、各施設とも年ごとに整備改善され、充分とはいえないまでも村の財政事情から見て、それなりに村当局の改善努力はなされており、要請の成果はあったと思っている。

ところで、全国的な問題であり当村としても特に切実な問題であるのが、高齢化と子どもの減少である。

将来に向けて小学校の再編成ということを考慮した話し合いを今から進めておくべきではないか、と感じている。

また、児童数の減少は嫁問題も含めて深刻である。各学校の調査では、平成五年度の村内小学校全児童数は、二百八十四人、平成十一年には百六十九人となり、六年間で百十五人の減少と推計されている。

なかでも、五年後の椿川小は十七人、大柳小は八人と減少が著しく「一人一人に行き届いた指導」というメリットはあるだろうが、競いあって伸びるのも子どもだと考えるとき「このままの体制で良いのか」と考えてしまう。



小学校のパソコン授業 (東成瀬小にて)

# 私もひとこと

## 若妻に あつい思いやりと配慮を



台 高橋みちこさん

家にもこる視野の狭い未熟者が自治について意見を述べることは、おっくうで難しいことですけれど、つたないお話をさせていただきます。

私が子育ての真最中というかそれ以前の妊婦時代に、粉末ミルク及び牛乳が支給された記憶があります。子どもを育てられた三十から四十代のお母様方であれば、良くご存じのことと思

います。  
家にもこる視野の狭い未熟者が自治について意見を述べることは、おっくうで難しいことですけれど、つたないお話をさせていただきます。  
私が子育ての真最中というかそれ以前の妊婦時代に、粉末ミルク及び牛乳が支給された記憶があります。子どもを育てられた三十から四十代のお母様方であれば、良くご存じのことと思

このようになりました

みなさんからの  
**請願・陳情**

採択とした  
請願(一件)

趣旨採択とした  
陳情(一件)

▼冷害から農家経営を守る緊急対策に関する請願  
日本農民組合秋田県連合会  
委員長 松倉多助  
(関係大臣等に意見書を提出)

▼治安維持法犠牲者への国家賠償を求める陳情  
治安維持法犠牲者国家賠償同盟秋田県本部  
代表者 加賀谷喜一郎

閉会中の継続審査  
とした請願・陳情  
(二件)

▼年金制度の改善を求める国の意見書提出についての陳情  
秋田県「社会保障国民署名」共同行動実行委員会  
代表者 鈴木政和

▼小選挙区比例代表並立制及び政党への公費助成に対する意見書の採択を求める陳情  
小選挙区制阻止湯沢・雄勝共闘会議 議長 鈴木甚郎

再度、閉会中の継続審査とした陳情  
(一件)

▼小選挙区制、小選挙区比例代表「並立制」「連用制」の導入に反対する陳情  
小選挙区制粉碎秋田県共闘会議 議長 斉藤重一

▼村内五団体が  
冷害対策要望を提出  
九月定例会に、冷害に対して救済対策を求められた。次

の団体から提出された。  
議会では、これらの要望を受け異常ともいえる冷害に対して適正な救済対策を速やかに講ずるよう、村当局をはじめとするあらゆる機関へ強く働きかけて行くこととした。

### 要望書を提出した団体

- 東成瀬村農業協同組合
- 組合長理事 高橋東美
- 東成瀬村農業協同組合青年部 部長 富田富男
- 東成瀬村農業協同組合婦人部 部長 高橋キヌ子
- 中核担い手農家「田畑会」 会長 佐藤正次郎 他二名
- 東成瀬村農業委員会 会長 高橋健

## 編集室

村の老齢の方達も見たことがないという程の大冷害である。いかに冷夏とはいえ、まさかこれ程の災害が起こるとは誰も予想しなかったことと思う。私達は、戦後の稲作の歴史だけを過信し、現代の技術では、このような冷害など起こるはずがないと考えて参りました。改めて自然の恐さを思い知らされる結果となった訳である。飯米すらも採れない農家も多いと思いますが、来年の豊作を夢見乍ら頑張ってもらいたい。九月定例会は七日に招集され十七日に終わりました。前年度決算審査は特別委員会を設置し審査のうえ、認定しました。若者定住促進事業や成瀬ダムの建設計画などプロジェクトの実現に取り組む訳ですが、私共の期待する成果を生み出すようにみんなで協力して参りたいものである。

栗駒山、栃ヶ森山周辺一帯が森林生態系保護地域として認定され、未長く保護される見通しとなりました。保存地区と保全利用地区に線引きされますが、長い目で見守って行きたい。

(高橋 楯雄)